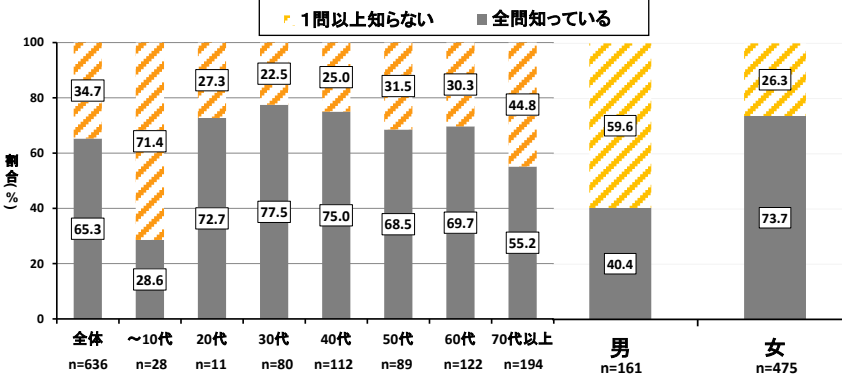


令和元年度第 1 回 収集情報（報告事項）

項 目	内 容																																	
テーマ	はちみつによる乳児ボツリヌス症予防に関する調査結果																																	
要旨	<p>1 経緯</p> <p>はちみつによる乳児ボツリヌス症については、平成 29 年の都内における死亡事例を受け、平成 29 年度第 1 回食品安全情報評価委員会で、再発防止に向けた検討が行われた。</p> <p>その結果を受け、都では、幅広い世代に対する注意喚起を実施¹⁾するとともに、より効果的な対策の実施に向け、以下の調査を行った。</p> <p>2 認知状況に関するアンケート調査</p> <p>(1) 実施機関：多摩小平保健所</p> <p>(2) 実施期間：平成 30 年 10 月から平成 31 年 2 月まで</p> <p>(3) 調査対象（有効回答数）</p> <p>ア 市民まつり等に参加した市民 636 名</p> <p>イ 保健所主催の食品衛生講習会に出席した事業者 549 名</p> <p>(4) 乳児ボツリヌス症の予防に関する調査項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 歳未満の乳児にはちみつを与えてはいけないこと ・ はちみつを含む加工食品も同様であること ・ 加熱したはちみつも同様であること <p>(5) 調査結果</p> <p>ア 市民に対するアンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児ボツリヌス症の予防に関する認知度（すべての項目を正しく知っていた人の割合。以下同様。）は全体の 65.3%。 ・ 世代別の認知度は、20 代～40 代では 7 割を超えたが、50 代以上では 7 割未満となり、70 代以上では 55.2%であった。 ・ 性別の認知度では、女性 73.7%に対して、男性 40.4%であった。  <table border="1" data-bbox="518 1601 1364 1982"> <caption>図 1 市民の認知度（世代別、性別）</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>全問知っている (%)</th> <th>1問以上知らない (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体 (n=636)</td> <td>65.3</td> <td>34.7</td> </tr> <tr> <td>～10代 (n=28)</td> <td>28.6</td> <td>71.4</td> </tr> <tr> <td>20代 (n=11)</td> <td>72.7</td> <td>27.3</td> </tr> <tr> <td>30代 (n=80)</td> <td>77.5</td> <td>22.5</td> </tr> <tr> <td>40代 (n=112)</td> <td>75.0</td> <td>25.0</td> </tr> <tr> <td>50代 (n=89)</td> <td>68.5</td> <td>31.5</td> </tr> <tr> <td>60代 (n=122)</td> <td>69.7</td> <td>30.3</td> </tr> <tr> <td>70代以上 (n=194)</td> <td>55.2</td> <td>44.8</td> </tr> <tr> <td>男 (n=161)</td> <td>40.4</td> <td>59.6</td> </tr> <tr> <td>女 (n=475)</td> <td>73.7</td> <td>26.3</td> </tr> </tbody> </table>	項目	全問知っている (%)	1問以上知らない (%)	全体 (n=636)	65.3	34.7	～10代 (n=28)	28.6	71.4	20代 (n=11)	72.7	27.3	30代 (n=80)	77.5	22.5	40代 (n=112)	75.0	25.0	50代 (n=89)	68.5	31.5	60代 (n=122)	69.7	30.3	70代以上 (n=194)	55.2	44.8	男 (n=161)	40.4	59.6	女 (n=475)	73.7	26.3
項目	全問知っている (%)	1問以上知らない (%)																																
全体 (n=636)	65.3	34.7																																
～10代 (n=28)	28.6	71.4																																
20代 (n=11)	72.7	27.3																																
30代 (n=80)	77.5	22.5																																
40代 (n=112)	75.0	25.0																																
50代 (n=89)	68.5	31.5																																
60代 (n=122)	69.7	30.3																																
70代以上 (n=194)	55.2	44.8																																
男 (n=161)	40.4	59.6																																
女 (n=475)	73.7	26.3																																

- ・ 日頃乳幼児の世話をすることがある人に限った認知度は、全体で79.1%と市民全体65.3%と比べ高く、世代別、性別でもすべての属性で市民全体の割合よりも高かった。ただし、70代以上(67.3%)や男性(56.9%)では、7割に満たない結果であった。

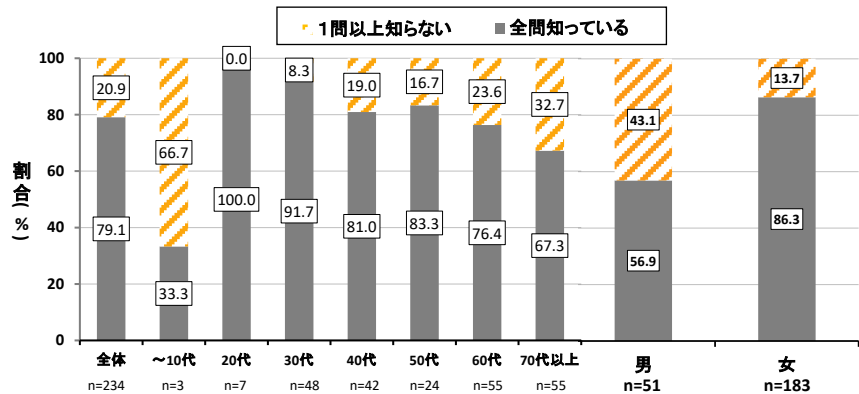


図2 市民のうち乳幼児の世をする人の認知度 (世代別、性別)

イ 事業者に対するアンケート結果

- ・ 各項目の認知度は、1歳未満の乳児にはちみつを与えてはいけないこと80.1%、1歳未満の乳児にはちみつを含む加工食品を与えてはいけないこと74.9%、加熱したはちみつも同様であること66.1%であった。

3 はちみつへの注意喚起表示に関する調査

- (1) 実施機関：健康安全研究センター
- (2) 実施期間：平成30年4月から平成31年3月まで
- (3) 調査概要：都内販売店にて販売されていた国産はちみつ50品目について、はちみつによる乳児ボツリヌス症予防に関する注意喚起表示の有無を確認した。
- (4) 調査結果等
 - ・ 50検体中6検体に、不適切な表示あるいは無表示が確認された。
 - ・ これら6検体については、事業者を所管する関係自治体に対し情報提供を行った。
 - ・ さらに、本調査結果について、食品表示法を所管する消費者庁に対して情報提供を行った。

4 今後の対応

これらの調査結果を踏まえ、既存リーフレット等を活用し、都民、事業者への注意喚起を実施していく。

添付資料

- 1) はちみつによる乳児ボツリヌス症予防に関する主な普及啓発の実施状況・・・3
- 2) 平成30年度食品表示に関する消費者意向調査(消費者庁)※「はちみつ」に係る箇所の抜粋・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 3) チラシ「ハチミツを与えるのは1歳を過ぎてから」(厚生労働省ホームページ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11